

SNS と共に生きる児童たち

八潮市立松之木小学校

校長 日暮 恭明



一学期が、半ばを迎えました。この前、新しい学年、新しいクラスで始まり、新しい友だちとの出会いがあったあの時から、はや二か月が経ちます。いろいろな知恵も育ち、友だちとの行動範囲も広がっていることと思います。そのような中、児童たちにさまざまなかたちで影響を及ぼし、心配な気持ち膨らむ一方の動きを見せているのが、児童たちを取り

巻く SNS 環境です。

現代社会は SNS 環境が発達し、さまざまな情報が飛び交う時代になりました。保護者の中にも、この SNS を使った仕事に携わったり、SNS からの情報を活用しておられたりする方も多くいらっしゃると思います。今では、私たちの生活も SNS に頼ることが多く、私たちの生活に無くてはならないものとなっています。このような SNS が身近で普通に存在する中で生きる児童には、SNS は特別視するものではなく、生活の一部となっています。現に、本校でも一人一台端末でタブレットが八潮市から貸し与えられて授業において使うことが普通になっていますし、家に持ち帰って家庭学習でこのタブレットを使うこともあります。今となっては、この SNS と私たちの関係は、断ち切ることができないものになりました。

SNS は、児童たちが生まれた時から存在していますし、小さい時からさまざまな情報機器を触ったり活用したりして育ってきています。そして、今日の本校では、全校の半数を超えると思われる児童が、スマホを所持している現状であり、児童が情報機器を気軽に操ることができる状況になっています。そこで、学校では、SNS の危険性を踏まえ、「情報機器の正しい使い方」や「情報モラル」などを授業に位置付けて、これからの情報化社会に生きる児童に正しい知識と実践力を持つ児童の育成に取り組んでいるところです。

保護者の皆様は、ぜひ、お子様のスマホの内容をご覧ください。お子様が使っている情報機器の使用状況を確認してください。我が子に限ってと思うかもしれませんが、知らないうちに危険に巻き込まれてしまっていたり、犯罪の影が見え隠れする状況に引き込まれてしまっていたりする場合もあるかもしれません。お子様の状況を把握し、問題が起こる前に静止できるのは、保護者の皆様しかありません。お子様によっては、スマホや情報機器の内容を親に見せたくないと言うかもしれません。しかし、それに怯（ひる）んではいけません。我が子のことだからこそ、我が子の状況を把握し、我が子を守ってあげてください。

学校では、仲間を思いやり、自他ともに気持ちよく生活でき、健全な成長が図れるように指導を重ねております。今後もさまざまな場面を通してこれらの指導を繰り返すと共に、情報モラル教育を一層推進してまいります。SNS が普通の時代に生きる児童たちには、正しい知識を持ち、正しく情報機器を使い、次代を築いていって欲しいと願っています。保護者の皆様におかれましては、家庭でのルールを再確認していただくとともに、正しく使うことができるよう言葉がけをお願いいたします。